



発行:えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日:令和3年12月24日
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地
TEL:01466-2-2410 E-mail:erimomus@cocoa.ocn.ne.jp
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

◇ 「ごぼう注連」と「輪飾り」とは ◇

新たな年を迎える前に、神棚などに飾る「ごぼう注連」と「輪飾り」について紹介します。

「ごぼう注連」とは、ごぼうのような形をした「しめ縄(注連縄)」です。

「ごぼう注連」を神棚に飾るときは紙垂(しで)などをつけます。

また、普段使う縄は右へねじる「右廻り」(みぎない)ですが、お正月のしめ縄は特別な物なので、左へねじる「左廻り」(ひだりない)」になっています。

古来より左を神聖、右を俗(日常)と考えるため、神様からみたときに元の太い部分が左になるように飾ります。

「輪飾り」は、細いしめ縄を輪にしたものに、ゆずり葉・紙垂(しで)をつけた小型のしめ飾りです。部屋、キッチンやトイレなどの水まわり、また、門松と組み合わせる場合もあります。



写真上: 「ごぼう注連」
写真下: 「輪飾り」

◇ 冬鳥がやってきた ◇

町内に、オジロワシ・オオワシ、オオハクチョウの冬鳥がみられるようになってきました。

オジロワシ・オオワシは、共に10月下旬頃から飛来し始め、歌別川河口、百人浜などの海岸線や内陸部でも姿を見ることができます。

オオハクチョウは、11月頃から飛来し始め、歌別川河口などで姿を見ることができます。



写真上: オジロワシ、写真中: オオワシ
写真下: オオハクチョウ

地名の由来 ～ トマベツ ～

原名は「トマムペツ」。語源は「トマム・ペツ」(Tomam-pet 湿地・川) という意味です。

下流は湿地や沼地が多く、この付近の第一の川をいいます。

「トマム」の「ム」は無声音であり、発音上「ム」が脱落して「トマペツ」となり、さらに「トワベツ」と訛ります。

文献資料に「トワベツ」「トハベツ」と記されたものが多いのは、このためです。

松浦日誌は「トワベツ(小川、幅三間)上に沼有。名義、トワベツと云よし。またはトワは蕨(わらび)の事也。蕨多き故とも云り。」とし、永田地名解も「Towa pet トウペツ 蕨川 一説ニ上ニ沼アリ故ニ名クト」と記されています。



写真：道道襟裳公園線から苦別を撮影

年末年始の休館について

郷土資料館は、12月30日(木)から翌年1月5日(水)まで、休館となりますのでお知らせします。

1/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
年末年始 休館	年末年始 休館	年末年始 休館	年末年始 休館	年末年始 休館	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○

えりもの国内外来種

シトウ(悲恋沼)に生息している「メダカ」は、ダツ目メダカ科メダカ属に分類される淡水魚です。

日本には、キタノメダカ(青森県から兵庫県にかけての日本海側に生息)やミナミメダカ(東京を含む東北地方の太平洋側から南日本、沖縄県に生息)の2種類がいます。

北海道には本来生息せず、他の淡水魚の移植によって入ってきたものと考えられています。

北海道では、昭和36年(1961年)に初報告され、函館や室蘭でも生息が確認されています。

現在では、環境省レッドリストの絶滅危惧種Ⅱ類に指定されていますが、道内では国内外来種です。



写真：シトウ(悲恋沼)で捕獲したメダカ。

1月～2月の
開館カレンダー